科目名	a 真言密教特殊講義 G		* 前期	単位	2	■北川真寛	
副題	日本仏教・密教の思想や歴史、文	て化を学ぶ(初級篇)	期 1 11 757	数		<b>当</b>  北川具見   <b>者</b>	
ナンバ	「リング M3-01-312 授業	方法   講義   写	実務経験の有額	ÍH.	有	関連DP	1,2

#### 授業の目的と概要

日本のスピリチュアルケア実践の背景となる宗教の思想、特に日本仏教・密教の基本的な思想や歴史、用語などを学ぶことを目的とし、高野山を中心とした日本の宗教思想や歴史、文化の基礎について講義する。

### 授業の到達目標

- ・自らのスピリチュアリティや仏教・密教学の基礎を涵養する。
- ・日本仏教の思想や歴史、文化を理解し、説明できるようになる。
- ・弘法大師を中心とした密教の思想や歴史、文化を理解し、説明できるようになる。

#### |授業計画

- 1. 絵伝にみる弘法大師空海の生涯(1) ―概説―
- 2. 高野山の歴史(1) 一中世一
- 3. 高野山の歴史(2) ―近世・近代―
- 4. 弘法大師空海の教え(1) ―即身成仏思想解説―
- 5. 弘法大師空海の教え(2) 十住心思想解説-
- 6. 真言密教の教え―曼荼羅解説―
- 7. 高野山の年中行事と学道
- 8. 真言密教の教学(1) 三密双修の解説-
- 9. 高野山の文化財
- 10. 日本仏教の教え―日本仏教の各宗派の概説―
- 11. 禅の教え―禅宗の解説―
- 12. 天台の教え―天台宗の解説―
- 13. 浄土の教え―浄土信仰の解説―
- 14. 神道の教え―神仏習合の解説―
- 15. 真言密教の社会福祉史

## 準備学習(予習・復習)・時間

・事前学習として、都度シラバスを確認し、授業計画に記されたテーマについて辞書などで意味を調べておくこと(30分)。例:4回目は即身成仏について調べておく。

・事後学習として、講義内容と配付資料を見直し、解説した思想や用語を理解すること(60分)

# テキスト

講師が用意する。

# 参考書・参考資料等

講義中に紹介する。

### 学生に対する評価

期末レポート (70%) 、テキストの理解度 (30%)

#### ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 基本的な仏教や密教の思想を理解できる。
- (B) 基本的な仏教や密教の思想·用語を理解できる。
- (A) 専門的な仏教や密教の思想·用語を理解できる。
- (S) 専門的な仏教や密教の思想・用語を理解し、自分の言葉で説明できる。

### 課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法は講義の中で指示する。

#### その他

# 実務経験のある教員が行う授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業内容か)

高野山真言宗の僧侶であり真言宗寺院の副住職である教員が、日本の仏教や密教の教え・文化・歴史などを僧侶としての立場から解説する。